

# 鳥類標識調査実施報告

◆実施日 2022年11月15日(木) 晴れ、風ほぼなし  
6:00開網～14:00閉網

## ◆放鳥種

種名	新放鳥数	再放鳥数	計
アカハラ	1	0	1
シロハラ	4	0	4
メジロ	2	1	3
ジョウビタキ	1	0	1
ベニマシコ	1	0	1
	9	1	10

## ◆姿・声で確認した鳥

メジロ、ホオジロ、ヒヨドリ、ウグイス、トビ、エナガ、コゲラ、モズ、シジュウカラ  
コジュケイ、フクロウ、ジョウビタキ、オオバン、ヒバリ、アオサギ、カワウ、マガモ  
ベニマシコ、カイツブリ、コガモ、ハシブトガラス、シロハラ、チョウゲンボウ?、アオジ

## ◆渡り鳥の状況

・冬鳥 ジョウビタキ、マガモ、ベニマシコ、オオバン、コガモ、シロハラ、アオジ



# 獵具設置場所





## 標識鳥



アカハラ 性不明成鳥



シロハラ 性不明幼鳥



ジョウビタキ オス成鳥



ベニマシコ オス成鳥

### ◆冬鳥のシーズン到来

アカハラ 1羽

シロハラ 4羽

ジョウビタキ 1羽

ベニマシコ 1羽

今回の標識鳥は、すっかり冬鳥の顔ぶれとなりました。

夏よりは冬の方が、保安林側から敷地内への鳥の出入りが活発になるようです。境界を隔てている金網付近のつる植物が枯れて隙間を通れるようになることや、冬に実をつける木が近くにあることなどが関係しているのかもしれませんが。

反対に、夏から秋にかけてよく鳥が通っていたコナラ林は、木々がずいぶん落葉してしまったこともあり動きが少し落ち着いてきているように思います。

### ◆その他の鳥の観察状況

日中は陽射しが強まり、初冬とは思えない暖かな1日となりました。メジロやヒバリのさえずりが聞こえました。

ビオトープ内の池にマガモ、コガモが飛来していました。敷地外の調整池の方には更に多くのカモが訪れていました。(キンクロハジロ、ホシハジロ、ヨシガモ、オカヨシガモなど)

保安林の上空をチョウゲンボウ?が通過しました。



メジロ 性不明幼鳥